



令和8年度
学校だより

Attractive Azuma
つなが

吾妻学園
つくば市立吾妻中学校
第18号
発行日 R8. 7. 17

強い相手と戦った経験は今後に活きる

県民総合体育大会(県総体)陸上競技・水泳競技



7月8日(水)から県民総合体育大会(県総体)が始まりました。この日から中学校陸上競技大会が那珂市の笠松運動公園陸上競技場(水戸信用金庫スタジアム)で行われ、陸上競技部の9年 ○○ ○○さん(部長)が3年女子100mに、8年 ○○ ○さんが共通男子円盤投げにそれぞれ出場しました。二人とも関東大会への出場はなりませんでしたが、練習の成果を発揮し、県内の選手らと競い合いました。

また、7月10日(金)からは中学校水泳競技大会がひたちなか市の笠松運動公園屋内水泳プール兼アイススケート場(山新スイミングアリーナ)で行われ、8年 ○○ ○○さんが女子自由形50mに、8年 ○○ ○さんが男子自由形50mと男子バタフライ100mに出場しました。二人とも関東大会への切符を得ることはできませんでしたが、力の限り泳ぎ切ることができました。

それぞれ結果は残念でしたが、全力で挑んだからこそ悔しさもあると思います。上位大会で、強い相手と戦った経験は今後に活きるでしょう。本当にお疲れ様でした。



体を回転させてより遠くへ



ハイレベルの戦い、力の限り



全身で力強く、より速く



自由形 緊張のスタート!

教育実習から「授業」を考える (2)

前回の教育実習生の「授業」からの続きです。今回は1回目の実習で、美術科の教員として学んだ竹内さんの学びからお伝えします。

生徒の学ぶ姿(学びの事実)を見ることの大切さ ～ そこから学ぶこと

竹内さんは実習3日目、授業参観での気づきを以下のようにその日の実習ノートへ記述しています。

適切な難易度の発問や、生徒がどのような態度で授業に取り組むのかを見ることができた。グループ共有の際では、自分が感じたことを上手に言語化できず、自分の意見を出したのに流されてしまったり、伝わっていなかったりしている場面が見られた。また、班の複数人が出した意見と違う趣旨の意見を持っていると『自分は違う、間違っているかも』という感じ方をしているような場面もあり、周囲が当たり前違う意見を受け止められる雰囲気をつくっていく必要があるのだと感じた。

生徒の学びの姿をしっかり捉えることの重要性を再認識していましたが、この記述には、グループで十分に学べていない生徒がいるという事実が記されています(右写真とは関連なし)。授業参観の際、一見「よく話し合っている」と思う場面でも、生徒の学ぶ姿をしっかり見ると、その表情や呟き、語りの中に気になる場面があります。そこで、私たち教員はその場面を的確に捉え、一人残らず(質の高い)学びを保障するためにはどうすべきか、授業をどのようにデザインすべきか、どのように生徒にかかわり、支えていけばよいのかを考えています。「教師は一生かかって教師になる」という言葉がありますが、教員は常に学び続けていく必要があります。(他業種もそうだと思います)

